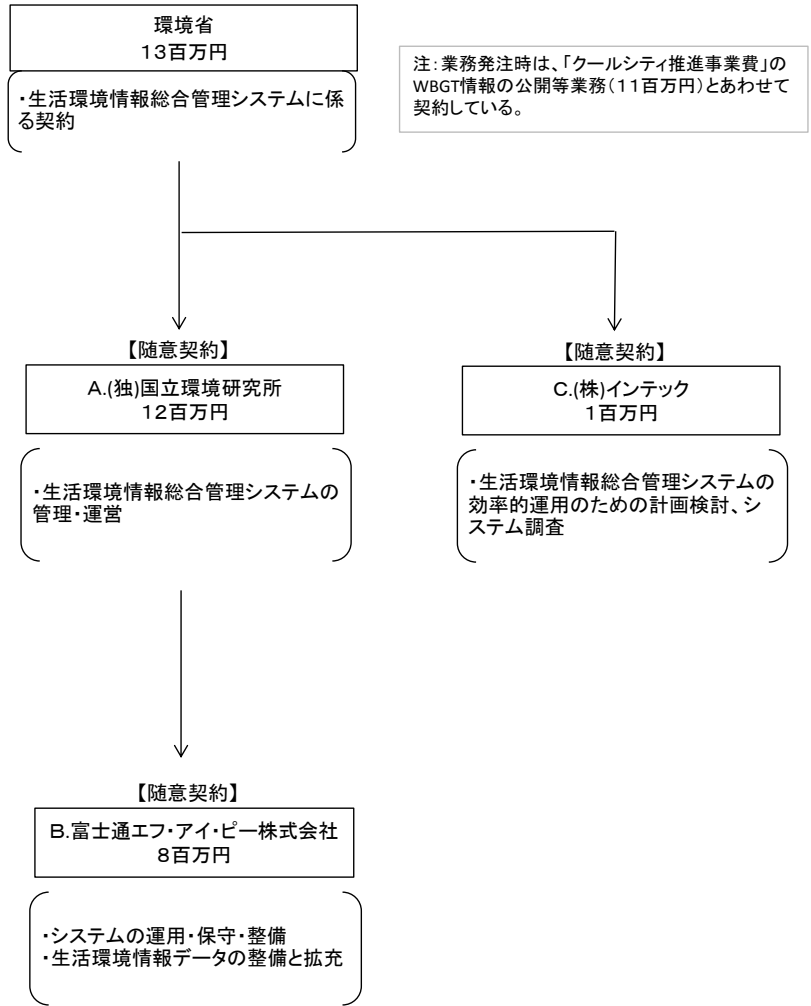


平成25年行政事業レビューシート (環境省)									
事業名	良好な生活環境形成・保全推進費			担当部局庁	水・大気環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年～			担当課室	大気生活環境室			室長事務取扱 眞先 正人	
会計区分	一般会計			政策・施策名	3. 大気・水・土壌環境等の保全 3-2 大気生活環境の保全				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・騒音・振動・悪臭に係る法施行データ等を生活環境情報総合管理システムで管理・分析・公表し、総合情報データベースとして広く情報発信をすることにより、地方自治体における良好な生活環境の確保のための活動を促進するとともに、事業者が法・条例等に基づく環境影響評価を実施するための基礎資料として利用することを目的としている。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・騒音・振動・悪臭に係る法施行データ等を集計・分析し、施行状況調査の結果や環境影響評価を行う上での基礎情報等として、ホームページ上で情報発信を行った。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	17	7	12	9	9		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
	計		17	7	12	9	9		
	執行額		15	7	13				
	執行率(%)		88%	100%	108%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績として、「生活環境情報サイト」へのアクセス件数が挙げられるが、目標値、及び目標達成年度を設定することは困難。なお、平成24年度のアクセス件数は381,790件。			成果実績	件	411,946	354,304	381,790	
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	「生活環境情報サイト」へのアクセス数			活動実績 (当初見込み)	件	411,946 ()	354,304 ()	381,790 ()	— ()
単位当たりコスト	32(円/件)			算出根拠	単位当たりのコスト＝ 良好な生活環境形成・保全推進費12,368,000円/「生活環境情報サイト」へのアクセス数381,790件)				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費		9	9	—				
	計		9	9					

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	生活環境情報サイトへのアクセス数は高い水準にあり、ニーズがあることがうかがえる。また、法施行データの入力をシステムで行えることは、環境省だけでなく地方公共団体にとっても事務の負担軽減となっている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	生活環境情報総合管理システムに関しては、従来より（独）国立環境研究所が保有・運用している環境GIS上に構築しているため、同研究所への随意契約とした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	システムは十分に活用されており、法施行データの取りまとめも問題なく終了した。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	生活環境情報サイトへのアクセス数や星空継続観測参加人数は高い水準にあり、ニーズがあることがうかがえる。法施行データの集計を手作業で行った場合、事務量が膨大となりヒューマンエラーの発生も予想されるため、今後もシステムの運用を継続していくことが必要である。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続きシステムの運用等を行う必要があるが、効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	053	平成23年	040	平成24年	041

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)国立環境研究所			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費等	生活環境情報総合管理システムの整備業務	4			
再委託費	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	8			
	注:業務発注時は、「クールシティ推進事業費」の WBGT情報の公開等業務(11百万円)とあわせて 契約している。				
計		12	計		0
B.富士通エフ・アイ・ピー株式会社			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
		8			
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払 いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要 さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で 提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかつ た。				
計		8	計		0
C.(株)インテック			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	支出額100万円未満のため非掲載	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	生活環境情報総合管理システムの整備業務	12	随意契約	-

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	システムの運用・保守・整備、生活環境情報データの整備と拡充	8	随意契約	-

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インテック	生活環境情報総合管理システムの効率的運用のための計画検討、システム調査	1	随意契約	-